

包装技術研究例会

～ 衣料用洗剤容器の開発事例と減速帯通過による包装貨物への衝撃研究 ～

日時	2020年10月14日(水) 13:30~16:00
会場	「Zoomウェビナー」を利用したオンラインセミナー形式 ※お申込みの方に、事前登録等の手続きをメールでご案内いたします。
参加費	【会員】 無料 / 【一般(会員外)】 5,500円(消費税10%込)
お願い	本セミナーの録音・撮影等は、禁止とさせていただきます。

プログラム

【コーディネーター】

刈谷紙器株式会社 代表取締役社長(包装管理士) 神谷 強 氏
ナビエース株式会社 営業本部 副本部長(包装管理士) 大山 孝一 氏

13:35~14:35

「衣料用洗剤容器の開発事例」

花王(株) 包装技術研究所 上席主任研究員(包装専士) 藤田 実智昭 氏

花王はESG視点でのよきモノづくりを掲げ、開発の初期段階から環境や社会に役立つ視点を盛り込み、商品開発を行っています。商品を通じて、生活者に喜びや共感を届け、快適な暮らしを自分らしく送るために、よりすこやかな地球のために、新たな生活体験を応援提供していくことで社会への貢献に取り組んでいます。今回は、衣料用洗剤容器から2013年に発売した環境を軸に新しい詰め替え方法を提案した「アタックつめかえ容器」と2019年に発売した洗濯習慣のイノベーションを提案した「アタックゼロ ワンハンドプッシュ」の容器開発事例について紹介します。

14:35~14:50 質疑応答・休憩

14:50~15:50

「減速帯通過時の包装貨物に加わる衝撃について」

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 主任 飯田 恭平 氏

輸送中の包装貨物に不具合が発生しないことを確認するため、様々な評価試験が行われている。しかし、あらゆる輸送経路で発生するすべての現象を評価試験で完全に再現することは難しく、評価試験で問題なしと判断された包装貨物でも輸送中に不具合が発生することが稀に起こる。不具合の発生には様々な要因が考えられるが、その中の一つに、輸送用の車両が減速帯を通過する際の包装貨物の跳ね上がりがある。

本講演では、減速帯の通過条件を変えて包装貨物に発生する衝撃加速度を調査したので、その結果について説明する。また、今後の研究テーマとして考えている、包装技術におけるAI(人工知能)の活用可能性についても少しだけ述べる。

【注意事項とお願い】

「Zoom ウェビナー」を利用したオンライン形式で開催いたします。下記の内容について、事前にご確認ください。

- ①ご利用の端末へのZoomアプリケーションのインストールおよびインターネット接続が必要となります。
- ②接続回線の状況等により視聴し難い場合があります。通信費・接続利用料金等は、参加者の自己負担となります。
- ③参加申込をいただいた方には、Eメールで参加手順等をご案内いたしますので、事前にご確認ください。
- ④本セミナーの内容について、録画・録音・キャプチャー取得等によるデータ保存行為を固く禁止します。また、講演資料は参加者のみの利用に限定しますので、無断で複写・配付・公開する等の行為を行わないでください。